

# 在園期間(二年間)に於ける幼兒身體の發育率

		頭圍						胸圍						身長						體重					
		合加せる割合に比して						合加せる割合に比して						合加せる割合に比して						合加せる割合に比して					
		入園時に對する割合						入園時に對する割合						入園時に對する割合						入園時に對する割合					
		幼兒百人の對する割合						幼兒百人の對する割合						幼兒百人の對する割合						幼兒百人の對する割合					
		合加せる割合						合加せる割合						合加せる割合						合加せる割合					
六	五	四	三	二	一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	
二二	二七	三〇	三四	三六	三八	四〇	四二	四四	四五	四七	四九	五一	五三	五五	五七	五九	六一	六三	六五	六七	六九	七一	七三		
一一	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
三四	四七	三二	六五	二二	四	二六	二八	三四	七五	四一	四一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一		
一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	五	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三		
三三	七〇	三三	六五	一〇	一	五六	二二	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五		
一二	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
四五	四三	三四	三一	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇		
〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一	〇一		

## 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、此の調査は明治四十五年より本年までの統計にして男兒七十三名女兒六十九名につき行へるものなり。尙本園に於ては最初の體格検査を五月に最後の體格検査は三月に行ふを以て其期間は嚴密にいへば滿二ケ年に充たざるも便宜上之を在園期間の發育と見なせり。

二、「入園時に比して増加せる割合」の項に擧げたる數字は各幼兒の入園最初の體格検査の結果と在園最後の體格検査の結果との差を入園時を基準とせる百分比を以てあらはせるものにして例令ば身長に就て言へば發育率の最小なるものは入園の時の身長を百分の三を増加し發育率の最大なるものは入園時の身長を百分の十六を増加せるを示す。

三、「幼兒百人につきての割合」の項に擧げたる數字は各發育率に該當する幼兒が幼兒中幾人あるかを百分比を以てあらはせるものにして(男右女左)之を各上段の數字と對照する時は各發育率の多少を知るべし。例令ば身長に就て言へば男兒に於ても女兒に於ても最多き(換言すれば最普通なる)は發育率一一のものにして發育率一〇、發育率九、發育率一二のものに亞ぐ。之に依つて見れば發育率九より一二位までの範圍を以て大體に於ける發育の普通標準と看做し得べし但身體の發育は大に過ぐると云ふべきものあらざれば此の普通標準以上のものは却つて喜ぶべき状態なれども若此普通標準以下に當る時は憂ふべしとなすべきか。而して教育上の一般的問題としては此の普通標準發育率を向上せしむることにある。

四、尙研究上の事實として注意すべきは身長と頭圍とに於ては其の普通標準發育率男女同一なる

も體重及び胸圍に於ては女兒の方大いなることなり。但是等の問題に就ては更に他の研究を期するものにして此の調査の斷定せんとする處にあらず。又各幼兒の發育率の相違範圍が體重に於て特に廣く身長胸圍に於ては比較的狭く頭圍に於ては最狭きことも興味ある點なり。

(大正七年三月調)

### 幼稚園講話會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園にては通園幼兒保護者のために來る二十五日(土)午後一時半より東京女子高等師範學校正門内右手作樂館に於て講話會を開催する由、講演題目は左の如くにして一般傍聽者の出席を許可すべしとなり。(下足の用意なし)

幼稚園の話

東京女子高等師範學校教授

倉橋 惣三

子供の衛生

東京帝國大學醫科大學教授

弘田 長